

「レトロピカル指宿」キャッチコピー及びロゴマーク使用取扱規程

(趣旨)

第1条 この規程は、「レトロピカル指宿」キャッチコピー及びロゴマーク（以下、「キャッチコピー等」という。）を使用する場合の取扱いに関して、必要な事項を定めるものとする。

(キャッチコピー等に関する権利)

第2条 キャッチコピー等に関する一切の権利は、指宿市（以下、「市」という。）に属する。

(使用の届出)

第3条 キャッチコピー等を使用しようとする者は、新聞、テレビ雑誌等報道機関が報道目的に使用する場合を除き、事前に市長に届出を行わなければならない。

2 届出を行う者は、使用届出書（別記様式第1号）を市長に提出しなければならない。

3 市長は、前項に規定する使用届出書が提出された場合には、その内容を審査のうえ、適当と認めるときは、これを受理する。この場合において、市長が必要と認める場合には、キャッチコピー等の使用方法その他について、条件を付することができる。

(使用の制限)

第4条 キャッチコピー等の使用が次の各号のいずれかに該当する場合は、市長は届出書を受理しないものとする。

(1)法令及び公序良俗に反すると認められる場合

(2)市の信用又は品位を害すると認められる場合

(3)第三者の利益を害すると認められる場合

(4)特定の個人、政党、宗教団体を支援し、又は支援するおそれがあると認められる場合

(5)風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条に定める営業を行う者が使用する場合

(6)暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下この号において「暴力団」という。）若しくは同条第6号に規定する暴力団員（以下この号において「暴力団員」という。）又は暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有する者が使用する場合

(7)キャッチコピー等の利用によって誤認又は混同を生じさせるおそれがあると認められる場合

(8)キャッチコピー等のイメージを損なうおそれがあると認められる場合

(9)キャッチコピー等の著しい変形その他キャッチコピー等の使用が適当でないとして認められる場合

(10)その他市長が別に定める要件に該当しない場合

(使用料)

第5条 キャッチコピー等の使用料については、無料とする。

(使用上の遵守事項)

第6条 第3条の規程に基づく届出を行った者（以下、「使用者」という。）は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1)使用に当たっては、原則、別添『「レトロピカル指宿」ロゴマニュアル』に定められた使用方法を遵守すること。なお、やむを得ずガイドラインによらない使用を行う場合については、市と個別に協議すること。
- (2)届出を行った使用目的のみに使用すること。
- (3)市長から求められた場合、キャッチコピー等を使用した資料や物品等を提出すること。

(届出内容の変更等)

第7条 使用者が使用届出の内容について追加又は変更しようとする場合は、あらかじめ変更届出書（別記様式第2号）を市長に提出しなければならない。

- 2 市長は、前項に規定する変更届出書が提出された場合には、その内容を審査のうえ、適当と認めるときは、これを受理する。

(使用の差止め)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合には使用者に対し、キャッチコピー等の使用を差し止めることができる。

- (1)使用者がこの規程に違反した場合
 - (2)届出書の内容に虚偽のあることが判明した場合
 - (3)第4条のいずれかに該当するに至った場合
 - (4)その他キャッチコピー等の使用継続が不相当であると認められた場合
- 2 市長は、前項の規定による使用の差し止めにより使用者に生じた損害について、一切の責任を負わないものとする。
 - 3 市長は、使用者にキャッチコピー等の使用状況等について報告させ、又は調査することができるものとする。

(使用の非独占性等)

第9条 この規程による使用届出は、使用者が自己の商標や意匠とするなど、独占してロゴマーク等を使用する権利を取得し、かつ、商品、使用者等について市の推奨を行うものではない。

(経費等の負担)

第10条 市は、この規程による使用届出の処理に要した費用及び使用の実施に係る経費又は役務を負担しない。

(損失補償等の責任)

第11条 市は、キャッチコピー等を使用したことに起因する損失補償等について、一切の責任を負わない。

2 使用者は、キャッチコピー等を使用した商品等の瑕疵により第三者に損害を与えた場合には、これに対し全責任を負い処理するものとする。

3 使用者は、キャッチコピー等の使用に際して故意又は過失により市に損害を与えた場合は、これによって生じた損害を市に賠償しなければならない。

(情報の公開)

第12条 市長は、キャッチコピー等の使用状況等について広く利用促進を図る観点から、キャッチコピー等の使用状況等について情報を公開することができる。

(事務)

第13条 この規程に関する事務は、指宿市産業振興部観光課が行う。

(その他)

第14条 この規程に定めるもののほか、キャッチコピー等の使用に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附則

この規程は、令和6年1月26日から適用する。